

地域説明会で出されたご意見やご質問をご紹介します。

質疑	回答
提言書では校庭舗装の方針は明記されていないようですが、教育委員会が今日の意見を聞いた上で、責任を持ってまとめてくれるのでしょうか。	提言書案を作成するにあたっては、考える会でも土系舗装と全天候型舗装とに意見が分かれたためこのような表現となっています。プロポーザルでは、頂いた提言書をもとに仕様を作成し、教育委員会としての方針をきちんと立てたうえで進めていきます。なお、考える会は今後も存続するので、段階ごとの説明会等も実施予定です。教職員、保護者、地域の方々の意見を集約し、そのうえで教育委員会で方針を決めてプロポーザルに臨むことをお約束します（区）。
設計業者をプロポーザル方式で決定するにあたり、教育委員会として「校舎、校庭はこのようなのが良い」という案が現時点であるのですか。	
今後提言書をまとめた後に、校庭舗装がどのような方針になるのか私たちが知る場や意見を聴いてもらう場はあるのでしょうか。	

【意見】

雨や雪の後、しばらくは校庭で体育の授業はできていないようです。また、乾燥する季節は砂埃がひどく、先生方が水を撒いてから授業をしています。保護者の立場からすれば、決められた体育の授業時間を十分に活用できていないのは現在の校庭のデメリットだとは思っています。

真夏の直射日光がひどい時期の校庭の表面温度による子どもたちへの影響を心配する声もありますが、そのような時は、外で授業は行わないので大きく考えなくてよいと思います。

本日の説明を受けて土の良さ、感触は教育上大切だと思いますが、全体を考えると校庭は全天候型舗装にし、遊歩道やプロムナード等で子どもたちが自然や土と親しめればよいと思いました。

説明会後に、第17回考える会を開催しました。

地域説明会が終了した後に、そのまま考える会を開催しました。皆さんから頂いた意見を踏まえて、「池袋第一小学校の建替えに関する提言書」の完成に向けて、活発な意見交換がされました。

今後は、作成した「池袋第一小学校の建替えに関する提言書」として、豊島区へ提出をする予定です。



第17回考える会のようす

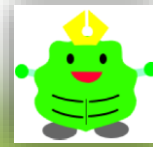
池袋第一小学校の建替え等を考える会および学校改築に関するご意見お問い合わせ

「池袋第一小学校の建替えに関する提言書（案）」をご覧になりたい方は、下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】

豊島区教育部 学校施設課  
 TEL：4566-2789/FAX：3980-7200  
 Mail：A0029257@city.toshima.lg.jp

池袋第一小学校の建替え等を考える会  
 ニュース NO.6



編集・発行：池袋第一小学校の建替え等を考える会  
 2017. 5

池袋第一小学校建替えに関する提言書(案)  
 地域説明会を実施しました

池袋第一小学校の建替え等を考える会は、2015年4月に設立されてから、基本構想案の作成に向けて、勉強会やワークショップに取り組んできました。

この度、16回にも及ぶ話し合いの成果として、「池袋第一小学校の建替えに関する提言書(案)」がまとまりました。

3月2日(木)には、地域説明会を実施し、考える会から地域の皆さんに提言書(案)の説明をした上で活発な意見交換がされています。

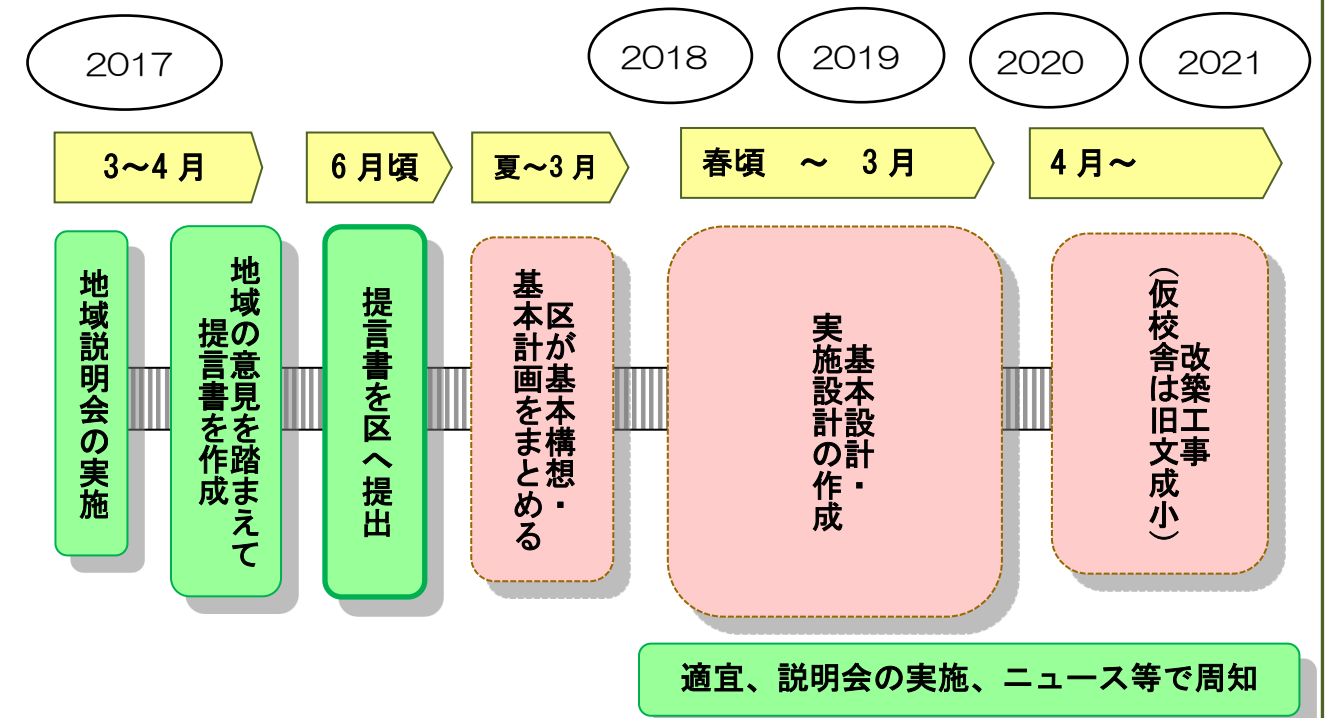
地域説明会終了後には、考える会を開催し、説明会での意見について協議しました。



地域説明会のようす

改築工事までの今後の流れ

2020年4月から改築工事にはいります。



建替えコンセプト

ともに生きともに学びともに育む集いの場 輝け笑顔の池一小

基本方針（こんな風につくりたい！）

1. 「児童のため」を第一に考えた学校

- ① 「生かせる学び」を支える学習環境
- ② 優しさと思いやりを育てる生活環境
- ③ みどりと触れ合う自然環境

2. 地域とのつながりを大切にしたい学校

- ① 多様な地域開放の充実
- ② 上池袋地区のよりよい環境の実現
- ③ 地域にとっても使いやすい学校

3. 木造住宅密集地域に位置することを考えた学校

- ① 災害時にも役立つ校庭
- ② 地域の防災拠点機能の充実
- ③ 周辺のまちづくりとの連携

整備方針（施設・機能の考え方）

基本方針のほか、以下の施設や機能についても考えました！

- ・ 学校全体
- ・ 教室など
- ・ 体育館
- ・ 校庭
- ・ プール
- ・ 共用部分
- ・ 地域開放施設
- ・ 外溝
- ・ 防災
- ・ 環境への配慮
- ・ 環境学習
- ・ 近隣への配慮

地域説明会で出された主なご意見やご質問をご紹介します。

質疑	回答
校庭舗装の技術は改善していると思いますが、実際に現場調査したうえで取り組んでいますか。また、防災課の意見を聞いて進めているのですか。	目白小学校、池袋本町小学校等を実際に視察、調査をしています。校庭舗装は、池袋本町小学校、池袋第三小学校など、最新の校庭を参考にして検討を進めました（区）。
阪神・淡路大震災後、今後小学校については、土系舗装の校庭にする区の方針が示されたと記憶しています。全天候型にする方針にいつ頃変わったのでしょうか。この地域は広い空間が少なく、学校は防災の拠点として重要な位置づけです。寒い時期の災害時に、焚火で暖をとることが可能になるよう検討してほしいです。	全天候型舗装に熱交換塗料を施したものを標準とする方針は、平成24年に教育委員会で決定しました。災害時に校庭で焚火をすることは、危険であることから想定はしていません。体育館の冷暖房完備など、災害時を考えた対応を行っていきます（区）。
新校舎における校庭の維持管理についてどのように考えていますか。区が責任を持つのですか。	どのような校庭になったとしても、区が責任を持って管理を行っていきます（区）。
校庭の維持管理や土ぼこりの問題にどのような経緯があり、現状と問題を把握したうえで、今回の提言書案となっているのでしょうか。	考える会でも校庭舗装についてかなりの時間をかけて話し合いをしています。いずれにしても、コンセプトである「児童のための教育、学校」であることを第一に考えています（区）。
24～25年前の校庭改修の際、学識経験者や専門家など協力を得ながら、地球温暖化などの環境問題にも配慮した校庭の検討を行っています。また、数年前には、「豊島区の学校校庭をすべて芝生化する」という内容の新聞記事も記憶しています。環境問題も重要視し、サーファム <sup>※</sup> ではなく自然の素材のものと考えていたのですが、一体いつ方針が変わったのですか。	地球温暖化等への対策は、校庭の舗装に関わらず、雨水利用や屋上緑化など、改築工事全体で対応していきます。また、校庭の芝生化を進めていくなかで、芝の維持管理が校庭では難しいとわかり、平成24年に小学校については全天候型舗装に熱交換塗料を施したものを標準とする方針を決定しています（区）。
<small>※サーファム...ゴムチップ等を接着剤で固めたコート</small>	考える会で検討するなかで、現在の校庭は、雨や雪で2～3日校庭が使えず、体育の授業に影響があると知りました。限られた授業時間の中で、子どもたちにとってどのようにすれば最良かを考えています（委員）。



質疑応答の様子

校庭舗装については、考える会でも何度も話し合いを重ねています。その結論が提言書(案)に表れています。子どもは土系舗装に親しみがあり、親も愛着があるはずで、一方で、改築にあたっては現在より広い校舎面積を確保する方針があり、単純に配置すると校庭が狭くなってしまいます。校庭面積を確保するために校舎配置を変えると校庭に日が当たらなくなる可能性もあることから、未来を考えあらゆる視点で考えてきたつもりです（委員）。